



**加世田高校美術部作品展**  
■3月3日から15日までの期間、南溟館で開催されました。  
加世田高校美術部の力作が一堂に展示されました。



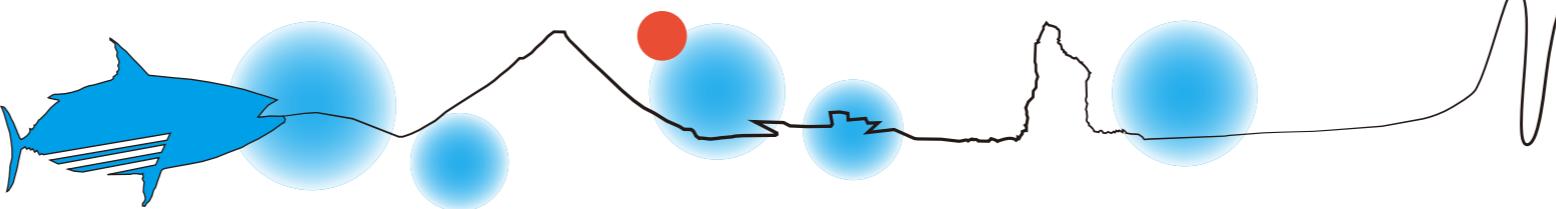
■友好都市の稚内市から「北のアイドル」と呼ばれるフウセンウオが2匹送られてきました。現在、お魚センターに展示されており、「枕崎のアイドル」となることが期待されます。



**薩摩青雲丸が帰港**  
■1月9日から航海実習に出航していた鹿児島水産高校の薩摩青雲丸が、3月18日に枕崎に帰港しました。この日は、八戸沖で獲れたメバチマグロやメカジキなど約40トンを水揚げしました。



**「広報まくらざき」が特選を受賞**  
■令和元年度の鹿児島県広報コンクール(組み写真部門)において、昨年度の広報まくらざき9月号が特選を受賞しました。現在、県の推薦を受けて、全国広報コンクールに出品されています。



### 国体に向け児童・生徒の力作が勢ぞろい ～燃ゆる感動かごしま国体枕崎市ポスタークンクール

今年10月に開催される、燃ゆる感動かごしま国体なぎなた競技会で、本市を訪れる選手・監督や役員、一般観覧者等を温かく迎えることなどを目的に、「燃ゆる感動かごしま国体枕崎市ポスタークンクール」が実施されました。今回、市内小・中学校から143点の応募があり、1月30日に行われた審査の結果、小学生の部で山神凜音さん(枕崎小6年・写真左)の作品が、中学生の部で内彩音さん(桜山中2年・写真右)の作品が最優秀賞に選ばれました。その他の結果については、市ホームページで紹介しています。

また、2月22日から3月1日までの期間には、同コンクールの作品展が南溟館で行われ、子どもたちの力作が展示されました。



▲コンクール作品展の様子

### 第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」がいよいよ今年度開催されます！

第75回国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体)が、2020年10月3日(土)から13日(火)の期間、県内各所で開催されます。本市では10月10日(土)から12日(月)の3日間の日程で「なぎなた競技会」が、枕崎市立総合体育館で開催されます。大会期間中は、全国から選手・監督や大会関係者、一般観覧者の皆さん方が本市を訪れます。枕崎市民のおもてなしの心で温かくお迎えし、市民一丸となって大会を盛り上げましょう。

■問合せ 保健体育課国体推進係 TEL72-0170



### 青空の下、駅伝選手と一緒に力走 ～別府小学校持久走大会

2月20日、別府小学校で持久走大会が開催され、全校児童が参加しました。今年は、県下一周市郡対抗駅伝競走大会の川辺チームの茅野竜生監督の紹介で、川辺チームのメンバー6名も伴走で参加し、子どもたちの走りをリードしました。

大会は800m(低学年)、1,200m(中学年)、1,500m(高学年)の3コースで行われ、3件の大会新記録が出ました。

川辺チームのメンバーで、同校出身の茅野智裕さんは「自分も新記録を目指して走っていたので、懐かしかった。子どもたちが積極的に走っていたので、一緒に楽しみながら走ることができた」と話しました。



### 子どもたちの思い出に残る卒業式を ～市内各小学校で卒業式を開催

3月24日、市内の各小学校で卒業式が開催されました。今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、卒業生と教職員、保護者だけで規模を縮小したかたちでの開催となりました。

そのような中、枕崎小学校では卒業生を少しでも元気づけ、心を込めて送り出そうと、卒業式後に先生たちがサプライズのバンド演奏会を開催。歌に載せて、卒業生にメッセージを贈りました。

卒業生たちは別れを惜しみながらも、先生たちの心のこもったサプライズを楽しそうに眺めていました。



### かつお博士を目指して114名が挑戦 ～第10回枕崎こどもかつおマイスター検定

2月22日、第10回枕崎こどもかつおマイスター検定が地場センター等で開催され、市内の小学5年生など114名が参加しました。参加者は、わら焼きタタキづくり体験やかつお節工場見学などの実技試験と筆記試験に挑戦しました。



### 働く家庭のお父さん・お母さんを支援 ～臨時休校支援 「地域愛情弁当」を販売

新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休校の支援として、枕崎青年会議所と市内の飲食店、地域の方が共同で「地域愛情弁当」を販売しました。

「地域愛情弁当」は、地域の方から食材を提供してもらい、市内の飲食店「焼仁」のスタッフが調理、枕崎青年会議所のメンバーが販売を担当しました。販売価格は家計に優しい100円。

3月9日から15日(11日を除く)までの期間で販売され、たくさんの子育て世帯を支援しました。



▲販売された「地域愛情弁当」